



# 来週の投資戦略 (10/23-27)

## 日米決算、米経済データに注目

2023年10月22日

小松 徹

### 注目事項 - 見所

企業決算—米国はアルファベット、マイクロソフト、わが国はニデック (6594) など。  
 10月26日、米国7-9月期の実質GDP成長率 — 前期比年率+4.5%?  
 10月27日、9月の米個人消費支出 (PCEデフレーター) — 前年比+3.4%?

### 株式市場見通し

先週は中東情勢の悪化に加え、パウエル連邦準備理事会 (FRB) 議長の「引き締め過ぎではない」などの発言で、日米株式市場は続落した。来週は日米で主要企業の決算が発表され、米国では重要な経済データも発表される。中東情勢がさらに緊迫化しないとの前提で話を進めたい。

来週わが国で予定されている決算発表は、月曜日のニデック、火曜日の中外製薬 (4519)、木曜日の日本取引所グループ (8697)、富士通 (6702)、富士電機 (6504)、金曜日の信越化学工業 (4063)、小松製作所 (6301)、日立製作所 (6501)、キーエンス (6861) など。ニデックの7-9月期の営業利益をアナリストは12%増益と予想している。アナリストは会社が年間の業績予想を修正しないと見ている。日本取引所Gは二人のセルサイドアナリストしか見ていないのが不思議だ。昼食休憩時間に決算が発表されるが、必ずしも良くて株価が上昇するわけでもないのも不思議。信越化学の7-9月期営業利益は36%減益と予想されているが、アナリストは年間利益を会社よりも高く見ている。キーエンスの7-9月期営業利益をアナリストは10%減益と予想している。12四半期ぶりの減益になる。個人投資家の関心は株式分割になろう。

来週米国で予定されている決算発表は、火曜日のアルファベット(グーグルの親会社)、マイクロソフト(ソフトウェア最大手)、水曜日のボーイング(航空機製造最大手)、木曜日のアマゾン・ドットコム(EC最大手+クラウド最大手)など。アルファベットの7-9月期一株当たり利益(EPS)は36%増益と予想されており、10-12月期の増益率はさらに高くなる。マイクロソフトの7-9月期のEPSは23%増益と予想されており、その基調は10-12月にも続くと期待されている。生成AI(人工知能)がどのくらいの勢いで伸びているかに関心がある。どちらの銘柄も今期予想株価収益率(PE)が30倍である。

最後に、来週の米国経済指標では木曜日に7-9月期の実質GDP成長率が発表される。エコノミストは前期比年率+4.5%と予想している。もし、これよりも高い数字が出ると、長期金利が一層上昇しそうだ。金曜日に9月の個人消費支出(PCEデフレーター)が発表される。全体で前年比+3.4%、コアで同比+3.7%と予想されている。こちらも高い数値は警戒されるだろう。

### KPAの投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。本レポート執筆時点で、KPA 役員あるいは KPA のお客様は中外製薬、日本取引所グループ、信越化学工業、富士電機を保有しています。